



～やればできる～

伸びゆく我ら

【11月の生活目標】おむすびそうじをがんばろう！

令和4年11月7日発行

第13号

文責：校長 石橋博道

## ユーカリと伊良林小学校

120周年にちなんで、6年生が総合的な学習で、本校の歴史について調べています。いくつかのグループが、私のところに聞き取り調査に来ました。いちばん多かったお尋ねが「ユーカリ」についてでした。「なぜ、ユーカリなのか？」「誰が、いつ植えたのか？」などです。今回、私も、創立100周年記念誌「伊良林の100年」をひも解きながら、校章にもなっている「ユーカリ」、そして本校の歴史について改めて触れることができました。そこで、少しだけ、本校の歴史について、紹介したいと思います。以下、「伊良林の100年」によるものです。

### 創立(明治35年10月1日)

伊良林小学校の前身「伊良林尋常小学校」ができたのが、今から120年前の明治35年(西暦1902年)。この年は、コレラが大流行し、市内の小学校は9月の1か月間休校となり、そのため、9月1日の予定が延期され、10月1日の開校となったそうです。開校時の児童数は546人。これは、勝山小からの385人と新町小からの151人の転入でした。しかも、男子児童のみで、男女共学となるのは明治38年からです。女子は興善女児高等小学校、西山女児高等小学校などに通っていたようです。

### 市内で3番目の鉄筋コンクリート校舎

さて、新校舎ができて3年めになりますが、実は、旧校舎の一部は、大正13年(1924年)に完成した建物だったそうです。児童数が増え続けていたために、校舎の増築が急がれ、土地の有効利用ということで鉄筋コンクリート校舎が建築されました。長崎市内の小学校では、城山小、飽浦小に続いて3番目に造られた鉄筋コンクリート校舎でした。90年以上も伊良林の子どもたちを見守っていたんですね。

### ユーカリ

いよいよ、「ユーカリ」についてですが、実は、現在敷地内に2本のユーカリが植えられています。実は、これは2代目なのです。昭和45年(1970年)8月14日の台風で、初代ユーカリが強風に耐えきれず倒れてしまったそうです。幹回り3.6m、高さ26m樹齢は100年を超えた大木でした。早急に跡継ぎをとということで、倒れてから間もない8月31日に、長崎県の計らいで高来町で育てられていた1本が植樹され、その後、伊良林小学校に在職した先生たちのつとめ「ゆうかり会」が、昭和62年(1987年)10月に2本のユーカリを寄贈しました。現在残っているユーカリはこの2本ではないかと言われています。

なお、田中安治郎さんによると、初代ユーカリは、共楽園さんが上海から取り寄せたものだそうです。上海と長崎を結ぶ日支連絡船(「上海航路」)が就航したのが大正12年なので、そのころのことかもしれませんね。



今週10日(木)は、4年生が出演する3年ぶりの「小音会」です。これまで、一生懸命練習してきましたので、とにかく楽しんでほしいと思います。また、来週19日(土)は「120周年フェスタ」です。こちら準備や練習が佳境を迎えています。

感染状況が心配されますが、まずは、お互いに「うつらない努力、うつさない努力」を心がけましょう。うつらないための日々の感染防止対策はもちろんです。発熱、咳や鼻水等風邪症状がある場合は決して無理をさせないようにしてください。特に前日発熱し、翌日下がったからと、無理をして登校し、その後、早退するケースが見られます。

新型コロナに加えてインフルエンザの流行も懸念されています。気を付けましょう。